

## 4-2-2 社会的状況

### (1) 人口及び産業の状況

#### 1) 人口の推移

岐阜県及び対象事業実施区域を含む周辺市町の平成12年から平成22年までの10年間の人口推移を表4-2-2-1に、年齢3区分別人口割合を表4-2-2-2に示す。

それによると、岐阜県の人口はやや減少傾向にある。各市町別では、可児市でやや増加傾向がみられるものの、その他の市町では県と同様に減少傾向がみられる。

表 4-2-2-1 人口の推移

(各年10月1日現在)  
(単位：人)

地域	平成12年	平成17年	平成22年
中津川市	85,004	84,080	80,910
恵那市	57,274	55,761	53,718
瑞浪市	42,298	42,065	40,387
御嵩町	19,653	19,272	18,824
土岐市	63,283	62,102	60,475
可児市	93,463	97,686	97,436
多治見市	115,740	114,876	112,595
岐阜県	2,107,700	2,107,226	2,080,773

注1. 平成17年以前の人口は、平成22年10月1日現在の境域に基づいて組み替えたものである。

注2. 平成12年度の中津川市人口には、旧長野県木曾郡山口村（平成17年2月13日中津川市と合併）の人口を含めている。

資料：「平成12年国勢調査」（平成25年6月現在、総務省統計局ホームページ）

「平成17年国勢調査」（平成25年6月現在、総務省統計局ホームページ）

「平成22年国勢調査」（平成25年6月現在、総務省統計局ホームページ）

表 4-2-2-2 年齢3区分別人口割合

(平成22年10月1日現在)  
(単位：%)

地域	年少人口 0～14歳	生産年齢人口 15～64歳	老年人口 65歳以上
中津川市	13.7	58.4	27.9
恵那市	13.2	57.9	29.0
瑞浪市	13.2	60.8	26.0
御嵩町	12.5	63.3	24.2
土岐市	12.7	60.4	26.9
可児市	14.6	65.2	20.1
多治見市	13.6	63.8	22.7
岐阜県	14.0	61.9	24.1

資料：「平成22年国勢調査」（平成25年6月現在、総務省統計局ホームページ）

(中津川市)

中津川市の人口は、平成 12 年から平成 22 年の 10 年間に、85,004 人から 80,910 人へと 4094 人減少し、その減少率は 4.8%となっている。また、老年人口(65 歳以上)割合は 27.9%となっており、岐阜県全体に比べて高くなっている。

(恵那市)

恵那市の人口は、平成 12 年から平成 22 年の 10 年間に、57,274 人から 53,718 人へと 3,556 人減少し、その減少率は 6.2%となっている。また、老年人口(65 歳以上)割合は 29.0%となっており、岐阜県全体に比べて高く、対象事業実施区域を含む周辺市町の中で最も高い値となっている。

(瑞浪市)

瑞浪市の人口は、平成 12 年から平成 22 年の 10 年間に、42,298 人から 40,387 人へと 1,911 人減少し、その減少率は 4.5%となっている。また、老年人口(65 歳以上)割合は 26.0%となっており、岐阜県全体に比べて高くなっている。

(御嵩町)

御嵩町の人口は、平成 12 年から平成 22 年の 10 年間に、19,653 人から 18,824 人へと 829 人減少し、その減少率は 4.2%となっている。また、老年人口(65 歳以上)割合は 24.2%となっており、岐阜県全体とほぼ同じ割合となっている。

(土岐市)

土岐市の人口は、平成 12 年から平成 22 年の 10 年間に、63,283 人から 60,475 人へと 2,808 人減少し、その減少率は 4.4%となっている。また、老年人口(65 歳以上)割合は 26.9%となっており、岐阜県全体に比べて高くなっている。

(可児市)

可児市の人口は、平成 12 年から平成 22 年の 10 年間に、93,463 人から 97,436 人へと 3,973 人増加し、その増加率は 4.3%となっている。また、老年人口(65 歳以上)割合は 20.1%となっており、岐阜県全体に比べて低く、対象事業実施区域を含む周辺市町の中で最も低い値となっている。

(多治見市)

多治見市の人口は、平成 12 年から平成 22 年の 10 年間に、115,740 人から 112,595 人へと 3,145 人減少し、その減少率は 2.7%となっている。また、老年人口(65 歳以上)割合は 22.7%となっており、岐阜県全体よりも低くなっている。

## 2) 産業次別就業人口構成比

全国、岐阜県及び対象事業実施区域を含む周辺市町の産業次別の就業人口とその構成比を表 4-2-2-3 に示す。

岐阜県の産業次別就業者人口は、第2次産業の就業人口が33.2万人であり、その割合が33.6%と全国水準と比べ8.4%高く、第2次産業に特化した産業特性を有している。

対象事業実施区域を含む周辺市町の産業次別人口の特徴は、中津川市、恵那市では第1次産業の就業人口の割合が全国水準と比べて高くなっているが、他の地域では低くなっている。第2次産業については、いずれの地域も全国水準と比べて高くなっている。第3次産業については、多治見市、瑞浪市については岐阜県の水準よりも高いものの、いずれの地域も全国水準よりも低くなっている。

表 4-2-2-3 産業次別の就業人口と構成比

(平成22年10月1日現在)

	全国		岐阜県							
			中津川市	恵那市	瑞浪市	御嵩町	土岐市	可児市	多治見市	
全就業者数	56,151,013	988,743	37,505	26,116	18,683	9,110	29,331	45,339	54,289	
第1次産業 就業者		2,381,415	31,614	1,948	1,500	424	174	198	657	274
	(%)	4.2	3.2	5.2	5.7	2.3	1.9	0.7	1.4	0.5
	A	2,135,977	29,254	1,734	1,395	407	168	194	644	247
	B	68,553	2,113	208	105	14	6	4	13	26
第2次産業 就業者	C	176,885	247	6	0	3	0	0	0	1
		14,123,282	331,945	15,347	9,561	5,946	3,732	11,057	16,907	17,038
	(%)	25.2	33.6	40.9	36.6	31.8	41.0	37.7	37.3	31.4
	D	22,152	593	29	34	7	5	18	14	35
第3次産業 就業者	E	4,474,946	84,542	3,300	2,066	1,281	748	2,137	2,972	4,020
	F	9,626,184	246,810	12,018	7,461	4,658	2,979	8,902	13,921	12,983
		39,646,316	625,184	20,210	15,055	12,313	5,204	18,076	27,775	36,977
	(%)	70.6	63.2	53.9	57.6	65.9	57.1	61.6	61.3	68.1
	G	284,473	4,736	179	112	67	42	125	261	293
	H	1,626,714	13,018	226	150	205	72	348	556	993
	I	3,219,050	47,940	1,509	1,227	859	475	1,552	2,633	3,234
	J	9,804,290	167,514	5,647	3,801	3,435	1,323	5,819	7,165	10,536
	K	1,512,975	25,265	478	432	445	148	653	946	1,458
	L	1,113,768	10,693	214	176	151	57	246	466	711
	M	1,902,215	25,369	717	525	465	180	719	1,071	1,803
	N	3,423,208	58,724	2,030	1,489	982	411	1,299	2,262	2,856
	O	2,198,515	40,741	1,391	1,373	1,106	545	1,320	2,297	2,498
	P	2,635,120	43,084	1,393	1,026	1,045	343	1,045	2,054	2,340
Q	6,127,782	99,057	3,602	2,534	2,065	820	2,874	4,214	5,444	
R	376,986	7,438	464	321	79	69	89	271	170	
S	3,405,092	49,678	1,363	1,066	895	420	1,418	2,318	2,893	
T	2,016,128	31,927	997	823	514	299	569	1,261	1,748	
U	3,460,298	33,873	1,249	412	456	348	885	1,673	1,246	

注1. 表中の産業の中分類は以下のとおり。

A 農業、B 林業、C 漁業、D 鉱業・採石業・砂利採取業、E 建設業、F 製造業、G 電気・ガス・熱供給・水道業、H 情報通信業、I 運輸業・郵便業、J 卸売・小売業、K 金融・保険業、L 不動産業・物品賃貸業、M 学術研究・専門・技術サービス業、N 宿泊業・飲食サービス業、O 生活関連サービス業・娯楽業、P 教育・学習支援業、Q 医療・福祉、R 複合サービス業、S サービス業（他に分類されないもの）、T 公務（他に分類されないもの）、U 分類不能の産業

資料：「平成22年国勢調査」（平成25年6月現在、総務省統計局ホームページ）

(中津川市)

中津川市では、就業人口の53.9%が第3次産業に従事し、「卸売・小売業」、「医療・福祉」の占める割合が多くなっている。第2次産業の比率は40.9%であり、対象事業実施区域を含む周辺市町の中では最も高い水準となっている。第1次産業の比率は5.2%となっており、全国及び県全体よりも高くなっている。

(恵那市)

恵那市では、就業人口の57.6%が第3次産業に従事し、「卸売・小売業」、「医療・福祉」の占める割合が多くなっている。第2次産業の比率は36.6%であり、「製造業」への従事者が多くを占めている。第1次産業の比率は5.7%となっており、対象事業実施区域を含む周辺市町の中では最も高い割合となっている。

(瑞浪市)

瑞浪市では、就業人口の65.9%が第3次産業に従事し、「卸売・小売業」、「医療・福祉」の占める割合が多くなっている。第2次産業の比率は31.8%であり、「製造業」への従事者が多くを占めている。第1次産業の比率は2.3%であり、全国及び県全体よりも低くなっている。

(御嵩町)

御嵩町では、就業人口の57.1%が第3次産業に従事し、「卸売・小売業」、「医療・福祉」の占める割合が多くなっている。第2次産業の比率は41.0%であり、対象事業実施区域を含む周辺市町では中津川市に次いで高い水準となっている。第1次産業の比率は1.9%であり、全国及び県全体よりも低くなっている。

(土岐市)

土岐市では、就業人口の61.6%が第3次産業に従事し、「卸売・小売業」、「医療・福祉」の占める割合が多くなっている。第2次産業の比率は37.7%であり、「製造業」への従事者が多くを占めている。第1次産業の比率は0.7%であり、全国及び県全体よりも低くなっている。

(可児市)

可児市では、就業人口の61.3%が第3次産業に従事し、「卸売・小売業」、「医療・福祉」の占める割合が多くなっている。第2次産業の比率は37.3%であり、「製造業」への従事者が多くを占めている。第1次産業の比率は1.4%であり、全国及び県全体よりも低くなっている。

(多治見市)

多治見市では、就業人口の68.1%が第3次産業に従事し、対象事業実施区域を含む周辺市町の中で最も高い割合を示している。また、「卸売・小売業」、「医療・福祉」の占める割合が多くなっている。第2次産業の比率は31.4%であり、「製造業」への従事者が多くを占めている。第1次産業の比率は0.5%であり、全国及び県全体よりも低く、対象事業実施区域を含む周辺市町の中で最も低くなっている。